

アソシエイツ試験概要



アソシエイツ試験範囲

顧客の要件に基づき、アーキテクチャ設計原則に沿ってソリューションを定義できること

プロジェクトのライフサイクルを通して、ベストプラクティスに基づく実装ガイダンスを組織に提供できること



アソシエイト試験範囲

試験分野		比率
分野 1	回復性の高いアーキテクチャを設計する	34%
分野 2	パフォーマンスに優れたアーキテクチャを定義する	24%
分野 3	セキュアなアプリケーションおよびアーキテクチャを規定する	26%
分野 4	コスト最適化アーキテクチャを設計する	10%
分野 5	オペレーショナルエクセレンスを備えたアーキテクチャを定義する	6%

参照: <https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-solutions-architect-associate/>



分野 1 : 回復性の高いアーキテクチャを設計する

- 信頼性と回復性の高いストレージを選択する。
- AWS サービスを使用した分離機構を設計する方法を定義する。
- 多層アーキテクチャソリューションを設計する方法を定義する。
- 可用性またはフォルトトレラント性 (あるいはその両方) が高いアーキテクチャを設計する 方法を定義する



分野 2 : パフォーマンスに優れたアーキテクチャを定義する

- パフォーマンスの高いストレージとデータベースを選択する。
- キャッシュを使用してパフォーマンスを向上させる。
- 伸縮性と拡張性を備えたソリューションを設計する



分野3：セキュアなアプリケーションおよびアーキテクチャを規定する

- アプリケーション層をセキュリティ保護する方法を定義する。
- データをセキュリティ保護する方法を定義する。
- 単一の VPC アプリケーション用のネットワークインフラストラクチャーを定義する。



分野4：コスト最適化アーキテクチャを設計する

- コスト最適化ストレージを設計する方法を定義する。
- コスト最適化コンピューティングを設計する方法を定義する



分野5：オペレーショナルエクセレンスを備えたアーキテクチャを定義する

- オペレーショナルエクセレンスを実現するソリューションの設計特性を選択する。



受験対象者

- AWS 上で可用性、優れたコスト効率、耐障害性を備え、スケーラブルな分散システムを設計した 1 年間の実務経験
- AWS のコンピューティング、ネットワーキング、ストレージ、データベースサービスの実践的な使用経験
- AWS のデプロイおよび管理サービスに関する実践経験
- AWS ベースのアプリケーションに関する技術的要件を特定、定義する能力
- 提示された技術的要件を満たす AWS のサービスを特定する能力
- AWS プラットフォームで安全性と信頼性の高いアプリケーションを構築するために推奨されるベストプラクティスに関する知識
- AWS クラウドでのソリューション構築における基本的なアーキテクチャの原則に関する理解
- AWS のグローバルインフラストラクチャに関する理解
- AWS に関連するネットワーク技術の理解
- AWS で利用できるセキュリティ関連の機能およびツールと従来型サービスとの連携に関する理解



受験対象者

- AWS 上で可用性、優れたコスト効率、耐障害性を備え、スケーラブルな分散システムを設計した 1 年間の実務経験
- AWS のコンピューティング、ネットワーキング、ストレージ、データベースサービスの実践的な使用経験
- AWS のデプロイおよび管理サービスに関する実践経験
- AWS ベースのアプリケーションに関する技術的要件を特定、定義する能力
- 提示された技術的要件を満たす AWS のサービスを特定する能力
- AWS プラットフォームで安全性と信頼性の高いアプリケーションを構築するために推奨されるベストプラクティスに関する知識
- AWS クラウドでのソリューション構築における基本的なアーキテクチャの原則に関する理解
- AWS のグローバルインフラストラクチャに関する理解
- AWS に関連するネットワーク技術の理解
- AWS で利用できるセキュリティ関連の機能およびツールと従来型サービスとの連携に関する理解



対称受験者に求められる能力

【知識系】

AWS・アーキテクチャ・
セキュリティ・ネットワーク
ツールなどの知識・理解

【実践系】

EC2・VPC・S3などの
標準機能を使ってアーキテク
チャーを構築した実践経験



対称受験者に求められる能力

【知識系】

AWS・アーキテクチャ・
セキュリティ・ネットワーク
ツールなどの知識・理解

【実践系】

EC2・VPC・S3などの
標準機能を使ってアーキテク
チャーを構築した実践経験



【本講座の対応】

網羅的なAWS試験範囲の学習
と模擬試験で知識を獲得する



対称受験者に求められる能力

【知識系】

AWS・アーキテクチャ・
セキュリティ・ネットワーク
ツールなどの知識・理解



【本講座の対応】

網羅的なAWS試験範囲の学習
と模擬試験で知識を獲得する

【実践系】

EC2・VPC・S3などの
標準機能を使ってアーキテク
チャーを構築した実践経験



【本講座の対応】

実際のハンズオンで主要機能を
扱えるようになることで実践経
験を獲得する



試験内容

- 択一選択問題: 選択肢には 1つの正解と 3つの不正解
- 複数選択問題: 5つの選択肢のうち、2以上が正解



試験内容

- Q1. ある企業が、カスタム AMI 上のテキストファイルにアクセスキー (アクセスキー ID およびシークレットアクセスキー) を格納しようとしています。その企業は、アクセスキーを使用して、AMI から作成されたインスタンスから DynamoDB テーブルにアクセスします。セキュリティチームは、よりセキュアなソリューションを要求しています。

セキュリティチームの要求に応えるソリューションはどれですか。

- A. アクセスキーを Amazon S3 バケットに格納し、起動時にインスタンスからアクセスキーを取得する。
- B. インスタンスユーザーデータを介してアクセスキーをインスタンスに渡す。
- C. プライベートサブネット内で起動されたキーサーバーからアクセスキーを取得する
- D. そのテーブルにアクセスする権限を持つ IAM ロールを作成し、そのロールを使用してすべてのインスタンスを起動する。

答え：D



試験内容

Q2. ある企業が、ステートレス Web サーバーを使用する高可用性 Web アプリケーションを開発しています。

セッション状態データを保持するのに適したサービスはどれですか (2 つ選択してください)。

- A. CloudWatch
- B. DynamoDB
- C. Elastic Load Balancing
- D. ElastiCache
- E. Storage Gateway

答え: B、D



試験内容

機能 知識	AWSサービスの機能にかかる理解を問う質問
設計 知識	シナリオ形式でAWSサービスに最適なアーキテクチャ設計方法を問う質問

